



令和元年度
中学校英語科授業づくり研修会

徳島県教育委員会

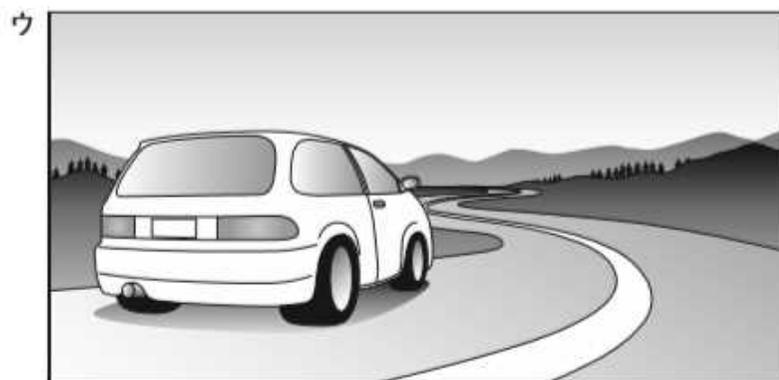
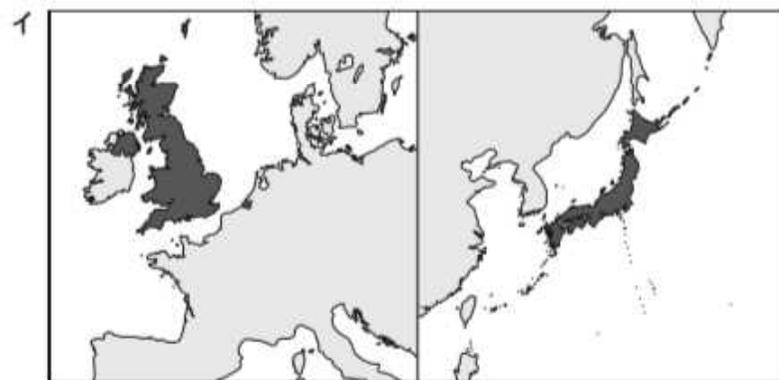
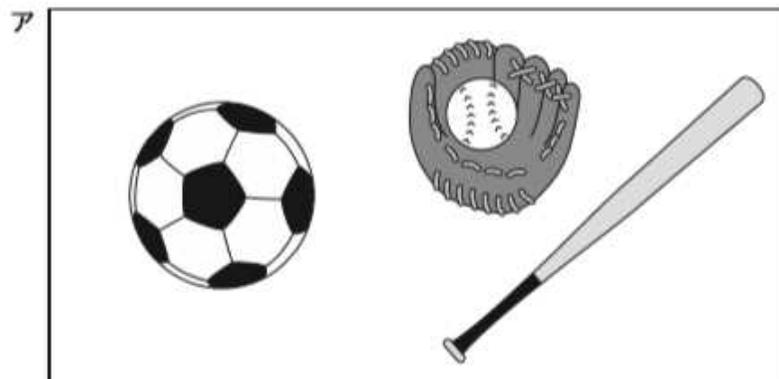
本日の日程



- 13:30-14:10 部会Ⅰ(40分) **分析**
- 14:10-14:20 休憩 English Camp動画
- 14:20-14:50 部会Ⅱ(30分) **モデル授業**
- 14:50-15:20 部会Ⅲ(30分) **協議**
- 15:20-15:25 アンケート(5分)
- 15:25-15:30 まとめ(5分)
- 15:30-15:40 休憩 English Camp動画
- 15:40-16:40 世界スタンダード:事前研修

2 (放送問題)

英語の授業で、ある生徒が2つの国について調べたことを、次の3枚の絵を見せながら発表します。生徒はア、イ、ウをどのような順番で見せるでしょうか。正しい順番になるように、1つずつ絵を選びなさい。



この問題の出題意図は？ どんな力を図る問題？

<スクリプト>

What countries are these? Yes, they are the U.K. and Japan. Both countries are the same in some ways. They are island countries, and cars run on the left. The two countries are different in some ways, too. In Japan, baseball is popular, but in the U.K., it isn't. Football is more popular than baseball. I think knowing about the life and culture of other countries is interesting. I want to learn more about them in the future.

この問題の出題意図は？ どんな力を図る問題？

4 (放送問題)

英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

<スクリプト>

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.

学習指導要領改訂の考え方

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における**「カリキュラム・マネジメント」**の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

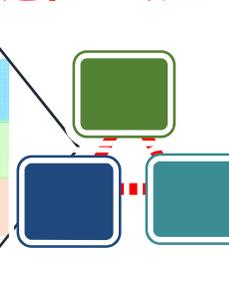
小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など
各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す
学習内容の削減は行わない*

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための
学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び



5 ※高校教育については、些末な事実に知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

【外国語】学習指導要領改訂の考え方

外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成と、学習評価の充実

外国語の背景にある文化の理解、相手への配慮を行いながら、主体的（・自律的）にコミュニケーションを図ろうとする態度

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解とそれらを実際のコミュニケーションで活用できる技能

コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて理解したり表現したり伝え合ったりすることができる力

何ができるようになるか

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

「外国語を使って何ができるようになることを目指すか」という目標を学校内外と共有し、ALT等の外部人材との連携、様々な教材やICTの効果的な活用を図りながら、外国語の教育課程を編成、実施し、学習評価を踏まえた改善を行っていくこと

何を学ぶか

学校段階間の円滑な接続と児童生徒の課題を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

- 小・中・高等学校を通じた5つの領域別の目標を設定（「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り・発表]」「書くこと」）
- 小学校中学年における外国語活動の新設、高学年の教科化

4技能5領域別の目標設定

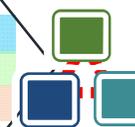
どのように学ぶか

五つの領域別の言語活動及び統合的な言語活動を通じた指導を行う

- 具体的な課題等を意識して活動する場面、状況における実際のコミュニケーションの場面
- 授業は英語で行い、授業の場面に

言語活動

主体的な学び
対話的な学び
深い学び



指導と評価の一体化

CAN-DOリスト

学習指導要領には、**到達目標**が。
全国学力学習状況調査は、**評価例**が。

英語では、初！

**全国学力・学習状況調査を
もっと、有効活用しよう！**

「言語活動を通して」育成が
ポイント



言語活動とは

**実際に英語を用いて互いの考えや
気持ちを伝え合う活動**

**※ 考えや気持ちを伝え合うという要素がない
⇒ × 言語活動**

**例) 発音練習、歌、英語の文字を機械的に
書く⇒練習**

**練習は、言語活動を成立させるために重要！
練習だけに終わらないように留意！**



国立教育政策研究所

National Institute for Educational Policy Research

全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた
学習指導の改善・充実に向けた説明会

指導改善

調査官・教育課程調査官

伊藤 幸男

市川 信子

教科・学年→学校全体で

説明の概要

1. 平成31年度（令和元年度）
【中学校英語】調査問題作成に当たって
2. 集計結果
3. 調査結果から明らかになった課題等
4. 各調査問題の趣旨と分析結果
 - 聞くこと ●読むこと ●書くこと ●話すこと
5. 指導改善のポイント

1. 平成31年度(令和元年度)【中学校英語】調査問題作成に当たって

中学校英語調査問題作成の方針

「全国学力・学習状況調査における中学校の英語の実施に関する最終報告」より(抜粋) 平成29年3月

- 「知識・技能」を問う問題に加え、「思考力・判断力・表現力等」を問う問題を出題する

● **「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」**

- 生徒の発信力(「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」)について、どのような課題があるかが明確になるような問題を出題する

- 指導改善につながるようにする

指導改善へ

- 育成すべき資質・能力などを具体的に示すメッセージとなるようにする

- 「主として「知識」に関する問題(A問題)」と「主として「活用」に関する問題(B問題)」を**一体**

資質・能力の具体的なメッセージ

- 5つの領域に統合型を含めた形式で行う

1. 平成31年度(令和元年度)【中学校英語】調査問題作成に当たって

調査問題の枠組み

測る力	外国語料の捉え	評価の観点	領域	評価の対象	該当問題	
育成すべき資質・能力	実際のコミュニケーションで声文ない活な	文化の解	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 音声の特徴についての知識 内容の取り出しをする技能 	1	
			話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 音声の特徴についての知識 文を生成する技能 	話すこと 1	
			読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 文字や符号についての知識 内容の取り出しをする技能 	5	
			書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 文字や符号、語と語の区切りについての知識 文を生成する技能 	9	
	多面的な社会関	現	現	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 問答したり意見を述べたりする力 まとまりのある内容を話す力 	話すこと 2, 3
				書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 文のつながりなどに注意して書く力 	10
			解	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 概要や要点を聞き取る力 自分が考えたことや感じたことを、その理由を交えて書くことができるよう必要な情報を聞き取る力 	2, 3, 4
				読むこと	<ul style="list-style-type: none"> あらすじや大切な部分を読み取る力 自分が考えたことや感じたことを、その理由を交えて書くことができるよう必要な情報を読み取る力 	6, 7, 8

**知識
技能**

**思考
判断
表現**

2. 集計結果

●聞くこと, 読むこと, 書くこと

5割を切っているもの**赤色** / **outputが低い**

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率
学習指導要領の領域	聞くこと	7	68.3
	読むこと	6	56.2
	書くこと	8	46.4
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	0	
	外国語表現の能力	1	1.9
	外国語理解の能力	6	45.3
	言語や文化についての知識・理解	14	65.2
問題形式	選択式	13	71.9
	短答式	5	46.0
	記述式	3	7.3

2. 集計結果

●話すこと(参考値)

**5割を切っているものの赤色
全体的に低い・知技も低**

生徒数	平均正答率		
917,978 人	1.5		
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率
学習指導要領の領域	話すこと	5	30.8
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	0	
	外国語表現の能力	2	28.1
	外国語理解の能力	0	
	言語や文化についての知識・理解	3	32.6
問題形式	選択式	0	
	短答式／口述式	3	32.6
	記述式／口述式	2	28.1

3. 調査結果から明らかになった課題等

主な特徴

【受容的な技能(聞くこと, 読むこと)について】

- ◇ 話されたり書かれたりしている内容そのものを理解することは、おおむねできている。
- ◆ 目的・場面・状況に応じて、概要や要点をとらえることに課題がある。
- ◆ 聞いたり読んだりした後に自分の考えや意見を示すことができるよう、話し手や書き手の意図をとらえることに課題がある。

**内容は理解できる、が
概要・要点を捉えることに課題**

全体的に大きな課題が見られた！

主な特徴

【発信的な技能(書くこと, 話すこと)について】

- ◆ 書くことについては、基本的な語や文法事項等の知識の定着やそれらを活用することに課題がある。
- ◆ 与えられたテーマについてまとまりのある文章を書くときに、自分の考えを相手に伝える英語で表現することに課題がある。
- ◆ 情報や考えなどを即興でやり取りすることに課題がある。

**基本的な語彙・文法の定着活用
表現、即興、全体的に課題**

3. 調査結果から明らかになった課題等

領域別の特徴

聞くこと

- ◇ 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることはできている。〔1〕
- ◇ まとまりのある内容を聞き、概要や必要な情報をとらえることはできている。
〔2〕、〔3〕
- ◆ まとまりのある内容を聞き、適切に応じることができるよう、話し手の意図をとらえることに課題がある。〔4〕

3. 調査結果から明らかになった課題等

領域別の特徴

読むこと

- ◇ 日常的な話題について、情報を正確に読み取ることはできている。〔 5 〕
- ◆ 社会的な話題について、まとまりのある文章を読み、書き手が最も伝えたいことなど大切な部分をとらえることに課題がある。〔 7 〕
- ◆ 社会的な話題について、読んだ後に自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを主体的にとらえることに課題がある。〔 8 〕

3. 調査結果から明らかになった課題等

領域別の特徴

書くこと

◆ 語や文法事項等を正しく用いて、文を書くことに課題がある。

[9] (2) ② , (3) ①②③]

◇◆ 書こうとする意欲は見られるものの、与えられたテーマについて考えを整理し、コミュニケーションに支障をきたすことなく内容を伝えることに課題がある。

[10]

3. 調査結果から明らかになった課題等

領域別の特徴

話すこと

- ◆ 情報や考えなどを即興でやり取りしたり、相手の発話の内容を踏まえて、それに関連した質問や意見を述べたりすることに課題がある。〔話すこと 2〕
- ◇◆ 自分の意見を話そうとする意欲は感じられるものの、与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことに課題がある。
〔話すこと 3〕

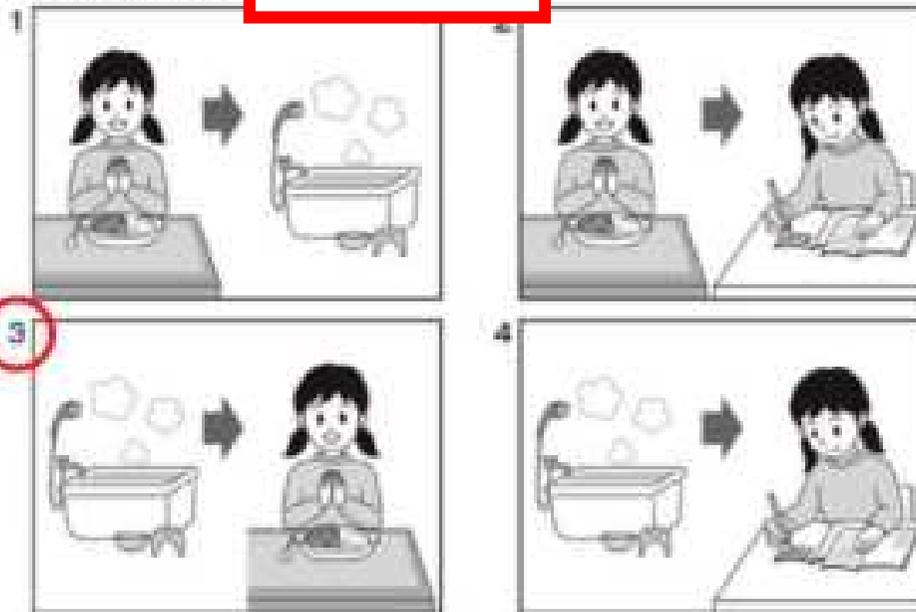
聞くこと

日常生活で正確に聞き取ることができているかどうかをみる。

言語や文化についての知識・理解

24.5%

(4) <家での会話>



(スクリプト)

(4) A: I'm so hungry.

B: Today's **dinner** is curry and rice.
It will take about thirty minutes
to cook.

Do you have any **homework**
today?

A: No, I don't.

B: Then **take a bath before dinner**.

A: OK.

教科書のListening教材だけでは不十分

日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができるようにする

- 情報を正確に聞き取るためには、英語の音声の特徴を踏まえて、事実や出来事などについての必要な情報を正しく理解する必要がある。指導に当たっては、教師が自然な口調の英語を用いるようにして話すなど、日常的に「聞くこと」を通して理解する活動を繰り返し行っていく必要がある。

(具体的な指導例)

- ・ 一日の行動や旅行の計画などを聞き、before A, after B等の時間的な順番を表す句を正しくとらえ、時間の前後関係を理解する活動

授業中のteacher-talkの改善

聞くこと 4 聞いた内容について適切に応じる〔部活動〕

解答類型3: ニックができる部活動についてのアドバイスにな
っていないもの

(例)

- Enjoy Japanese culture.
- Sushi is the most famous in Japan.
- You may go to Tokyo.

31.3%

視点A ×
視点B ○

メッセージの内容を聞き
取ることができず、部活
動についてのアドバイ
スになっていない

解答類型4: 書き手の考えを伝える上で、大きな支障となる語や文法事
項等の誤りがあるため、伝えたい内容が理解できないもの

(例)

- You want to can speak Japanese.
〔文構造の誤り〕
- You must ^ many famous place in Japan.
〔動詞の欠落〕
- You can ^ soccer.
〔動詞の欠落〕
- I think that good Maras
〔文構造の誤り〕

是非、各現場で分析を！

15.7%

視点A ×▲
視点B ×

メッセージの内
容を正しく理解で
きていないか、ア
ドバイスが思い
ついても相手に
伝わるように表
現できていない

約4割の生徒が解答類型0(無解答)に該当した。英語を聞き取ることができなかった
、もしくは、書きたい内容があっても英語が思い浮かばず表現できなかった等の理由が
考えられる。自然な口調で話される英語を聞いて適切に応じる活動を、日頃の授業であ
まり行っていないことが要因の一つと考えられる。

41.4%

30

聞くだけにとどめずに、把握した内容について適切に応じることができるようにする

- 依頼や提案などの話し手からの働き掛けに対する反応の仕方は、場面や状況、聞き手によって様々である。指導に当たっては、「聞くこと」が目的をもって行う能動的な活動であることを念頭に置き、ただ聞いて理解するだけの活動にしないことが大切である。そのためには、場面などの設定を工夫しながら、話し手がどのような人で、何を求めているか、この場面においてどのような応答がふさわしいのか考えさせ、内容を踏まえて自分の考えや意見を表現させることが重要である。また、日頃から生徒と英語でのやり取りをする中で、実際に聞いて応じる活動を積み重ね、体験的に身に付けさせていくことも必要である。

具体例を【部会II】で♪

読むこと 英文の大切な部分を読み取る〔チンパンジー〕

正答率 33.5%

読むこと

【 】 まとま... を読んで、説明文の大切な部分を理解することができるかどうかをみる。

外国語理解の能力

- 7 中学生の一人は、スミス先生 (Mr. Smith) と話しています。次の会話文中の () 内に入る最も適切なものを、右の上から4までの中から1つ選びなさい。

**選択肢は、全て英文の中にある。
要点を捉えることが必要！**

They do so smart as four-year-old children in some ways.

Few animals can understand janken. In janken, none is the strongest among rock, scissors, and paper. Learning about the relation among the three is very difficult.

The team tried teaching janken to seven chimpanzees. They showed pictures of two different janken hands to the chimpanzees. The chimpanzees got food when they pointed to the stronger one. Finally, five of the chimpanzees learned janken.

The team also tried teaching janken to some human children. They found that children could learn janken when they were about four years old. Through this study, they got the answer to the question: "How smart are chimpanzees?"

- 1 Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children.
- 2 Few animals can understand janken.
- 3 The team showed pictures of two different janken hands to the chimpanzees.
- 4 The team found that children could learn janken when they were about four years old.

読むこと 7 説明文の大切な部分を読み取る〔チンパンジー〕

日常的な話題や社会的な話題に関する説明などを読んで、最も大切な部分を読み取ることができるようにする

- 説明文などの大切な部分をとらえる際には、文章全体を通して読み、複数の情報の中から書き手が最も伝えたいことは何であるか等を判断することが大切である。指導に当たっては、文章全体を退然と読ませるのではなく、用いられている語(句)や文を選ばせたり、各

「言いたいことって、
一体なんだと思う？」と聞く。

(具体的な指導手順の例)

- ① 全体のおおまかな内容をとらえる
- ② 各段落の最も大切な内容を表す英文を選ぶ
- ③ それらを比較するなどして、文章の最も大切な部分について意見交換をする

このような活動を行う際には、日常的な話題にとどまらず、社会的な話題(自然環境問題や平和問題など)

具体例を【部会II】で♪

読むこと 8 読んだ内容について適切に応じる〔食糧問題〕

解答類型4: 食料を無駄にすることをやめるために自分ができることを示していないもの

(例)

• We have to stop wasting food.
〔問いかけの内容を繰り返している〕

• I think The world food programme is very nice project.
〔ただ感想を述べているだけ〕

• we can eat two rice balls.
〔解決策になっていない〕

• I have no idea.
〔読み手として主体的に考えたり判断したりしていない〕

これが多い!

39.3%

視点A ×
視点B ○
解決策としての適切さや具体性に欠けており、資料の内容を十分にとらえられていない

解答類型5: 書き手の考えを伝える上で、大きな支障となる語や文法事項等の誤りがあるため、伝えたい内容が理解できないもの

(例)

• We waste not food.
〔文構造の誤り〕

• I was hope waste food not every day.
〔動詞の重複〕

• I can ^ every eating food. So washt eating two rice balls.
〔動詞の欠落、つづりの誤り〕

• I an give foods in the hungry peoples.
〔不要な語、文構造の誤り〕

19.9%

視点A ×▲
視点B ×
資料の内容を理解できていないか、自分の考えが思い浮かんでも相手に伝わるように表現できていない

読むこと 8 読んだ内容について適切に応じる〔食糧問題〕

読むだけにとどめず、読んだ内容について、自分の考えを整理して述べるようにする

- 読んだことについて、自分の考えを述べる際には、単に内容を理解するだけでなく、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解していくことが大切である。指導に当たっては、**読む目的に応じて要点を把握した上で、得られた複数の情報を取り出して総合的に判断し、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域間の統合的な言語活動を工夫**することで、批判的な読み方を育てることが重要である。

(具体的な指導手続)

- ①
- ②
- ③
- ④

**教科書の題材を読んだ後、
「君たちは、どう思う？」と聞く。**

書き手

グループ

に書いて

まじめる

書くこと

- 【問題】
- ①②与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる。
- ③与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができるかどうかをみる。

(3) 次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

言語や文化についての知識・理解

①	出身	Australia
②	住んでいる都市	Rome
③	ペット (pet) の有 (○) 無 (×)	×

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

①

②

③



言語や文化についての知識・理解

解答類型	反応率 (%)
1 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書いているもの	53.2
2 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を書いているが、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるもの	1.0
3 与えられた情報に基づいて解答しているが、動詞の活用形に誤りがあるもの	0.9
4 与えられた情報に基づいて解答しているが、語や文法事項等に誤りがあるもの	3.3
5 類型4までとは異なる誤りがあるもの	34.7
99 上記以外の解答	0.6
0 無解答	6.2

解答類型5の例

- She from Australia.
- She froms Australia
- I'm from Australia.

文を構成する主要な要素である動詞の欠落が多く見られた。

言語や文化についての知識・理解

解答類型	反応率 (%)
1 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書いているもの	30.5
2 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を書いているが、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるもの	3.2
3 与えられた情報に基づいて解答しているが、動詞の活用形に誤りがあるもの	15.8
4 与えられた情報に基づいて解答しているが、語や文法事項等に誤りがあるもの	22.7
5 類型4までとは異なるもの	18.3
99 上記以外の解答	0.5
0 無解答	9.0

56.8

解答類型3・4・5の例

- She live in Rome. (解答類型3)
- She live is Rome. (解答類型4)
- I live in Rome. (解答類型5)

3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことに課題がある。

解答類型	正答率 (%)
1 与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書いているもの	19.5
2 与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を書いているが、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるもの	18.8
3 与えられた情報に基づいて解答しているが、一般動詞の否定形や動詞の活用形に誤りがあるもの	20.1
4 与えられた情報に基づいて解答しているが、語や文法事項等に誤りがあるもの	7.7
5 類型4までとは異なるもの	22.8
99 上記以外の解答	0.9
0 無解答	10.2

50.6

言語や文化についての知識・理解

解答類型3・4・5の例

- She don't have a pet. (解答類型3)
- She is not have pet. (解答類型4)
- She is not a pet. (解答類型5)

・3人称単数現在時制の一般動詞の否定形にdoesn'tを用いることができていない。
 ・基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことができていない。

語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができるようにする

- コミュニケーションの目的や場面、状況のある言語活動において、様々な個別の知識を活用させて文を書かせることを授業の中に位置付けるようにする。また、生徒の誤りについて生徒自身に考えさせるなどの指導を繰り返すことを通して、学習内容の理解を深めさせていく。

決して、ドリルをもっとではなく、**言語活動の充実**を！

を聞き
返し使

「授業は英語で行うことを基本とする」ことを新たに規定

生徒が授業の中で「英語に触れる機会を最大限に確保すること

授業全体を英語を使った「実際のコミュニケーションの場面」とすること

この配慮事項は、生徒が授業の中で「英語に触れる機会」を最大限に確保することと、授業全体を英語を使った「英語のコミュニケーションの場面」とすることとをねらいとしている。「授業は英語で行うことを基本とする」とは、生徒が日常生活において英語に触れる機会が非常に限られていることを踏まえ、英語による言語活動を行うことを授業の中心に据えることを意味する。さらに、…

話すこと

【

月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができるかどうかをみる。

大問 1 (1)

0000 / 0

言語や文化についての知識・理解



7

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



(スクリプト) When is her birthday?

話すこと 1 基本的な表現を理解して正しく応答する (1) [誕生日]

言語や文化についての知識・理解

解答類型	反応率 (%)
1 正しい月日を文で解答しているもの	8.9
2 正しい月日を句で解答しているもの	18.5
3 正しい月日で解答しているが、語や文法事項等に誤りがあるもの	5.4
4 誤った月日を文で解答しているもの	7.8
5 誤った月日を句で解答しているもの	16.2
6 誤った月日で解答しており、語や文法事項等にも誤りがあるもの	14.9
7 類型6までとは異なる誤りがあるもの	14.5
99 上記以外の解答	4.2
0 無解答	8.6

71.6

解答類型3・4・5・6・7の例

- She birthday July second. (解答類型3)
- Her birthday is July two. (解答類型4)
- Seventh second. (解答類型5)
- My birthday is April eighteenth. (解答類型6)
- She birthday is. (解答類型7)

基本的な表現を理解して、正しく応答できるようにする

- 月日や序数、数字などは基本的な語彙や表現であり、多くの生徒が小学校から慣れ親しんできている。ただ全員で今日の日付を言わせて終わるだけではなく、実際に個々の生徒とやり取りする中で日付を発話させるなど活動を工夫していくことが大切である。

(具
・生
その

**コーラスで言えたら、全員大丈夫
と思っているのでは？**

一人一人、確認が大事

て、
る。

話すこと

【問題】
与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる。

大問3

考えの時間 23/60秒

外国語表現の能力

あなたの学校で、海外のあるテレビ局が「世界の子供たちの夢」というテーマで番組を収録しています。画面にある話してほしい内容の①、②について、英語で話してください。1分間、内容を考えたあと、30秒で話します。

話してほしい内容

(①、②のどちらも話してください)

- ①あなたの将来の夢、または、将来やってみたいこと
- ②その実現のために頑張っていること、やるべきこと



(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

- ① 将来の夢、または、将来やってみたいことについて話している。
- ② その実現のために頑張っていること、やるべきことについて話している。

	解答類型	反応率 (%)
3	条件①、②を満たして解答しているが、①と②の関連性がない、または分かりづらいもの	0.3
4	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	14.4
5	条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	13.3

▪ I want to be a teacher. I practice tennis very hard. (解答類型3)

▪ I want to be a volleyball player. I practice hard. It was (解答類型4)

！注意！

▪ My dream is table tennis player in the future. I practice table tennis hard.

(解答類型5)

5.指導改善のポイント

5. 指導改善のポイント

聞くこと

◎ 聞いて把握した内容について、適切に応じる指導の
充実

※授業アイデア例を参照

- ・ 聞く目的、場面、状況設定を明確にする
- ・ 話し手が最も言いたいことが明確な英文
(テキストタイプ)を扱う



◎ ある程度まとまりのある英語を、年間を通して継続し
て聞かせる(教科書以外の英語に触れる機会を増やす)

- ・ 「必要な情報」

**その言語が使用されている目的・
場面・状況に応じた理解を促す指導**

5. 指導改善のポイント

読むこと

◎ まとまりのある文章を読んで大切な部分を読み取る 指導の充実

※授業アイデア例を参照

- ・ テキストの種類(物語や説明文等)や目的等に応じて、どのような読み方に焦点を当てて指導するかを明確にする
- ・ 複数の情報の中から、書き手が最も伝えたいことは何であるかを考えさせる(ただ読むだけでは×)



◎ 自分の考えを示すことができるよう、主体的に内容を 読み取る指導

- ・ 英文
の考え
統合的

**自分の考えを表現するために、
概要や要点を読み取る指導**

5. 指導改善のポイント

書くこと

◎ 考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く指導の充実

- ・ メモを活用しながら、初めは文単位から、徐々にまとまりのある文章に取り組む
- ・ 英語の文章の構成の特徴(トピックセンテンス—支持文—結論文)を意識させる
- ・ 接続詞や副詞などのディスコースマーカーに着目させながら文や段落をつなげる

◎ I, You以外の主語を用いて書く機会を設ける工夫

- ・ 調べたことについて説明や報告をしたり、絵や写真

**その言語が使用されている目的・
場面・状況に応じた表現を促す指導**

5. 指導改善のポイント

話すこと

◎ 情報や考えなどを即興で伝え合う指導の充実

- ・ トピックの設定を工夫する ※授業アイデア例を参照
- ・ 即興性と予測不能性を意識して、準備なしで話をする機会を計画的に設定する
- ・ ストラテジーを用いて話を続ける



◎ 形骸化した問答(挨拶, 日付等の基本的な表現)から真のインタラクションのある授業へ

- ・ 大量の英語を与える(教室英語, Teacher Talkなど)

**その言語が使用されている目的・
場面・状況に応じた表現を促す指導**

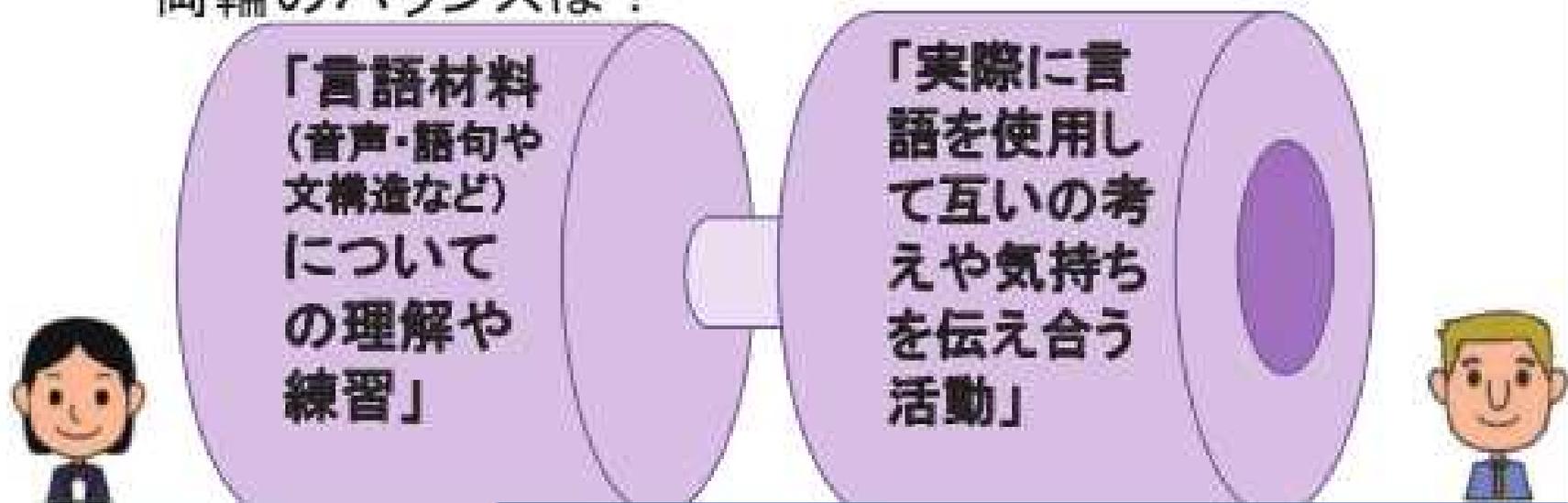
5. 指導改善のポイント

知識及び技能

「進んで働く」ものになっているか

○ 言語材料の確実な定着

- ・ 文法はコミュニケーションを支えるもの
- ・ 週4時間(140時間)になって10年 質の向上は？
- ・ 聞かせたり、読ませたりする英語のインプット量は？
- ・ 両輪のバランスは？



練習と言語活動のバランス



令和元年度
中学校英語科授業づくり研修会
【部会Ⅱ】 **モデル授業**

徳島県教育委員会

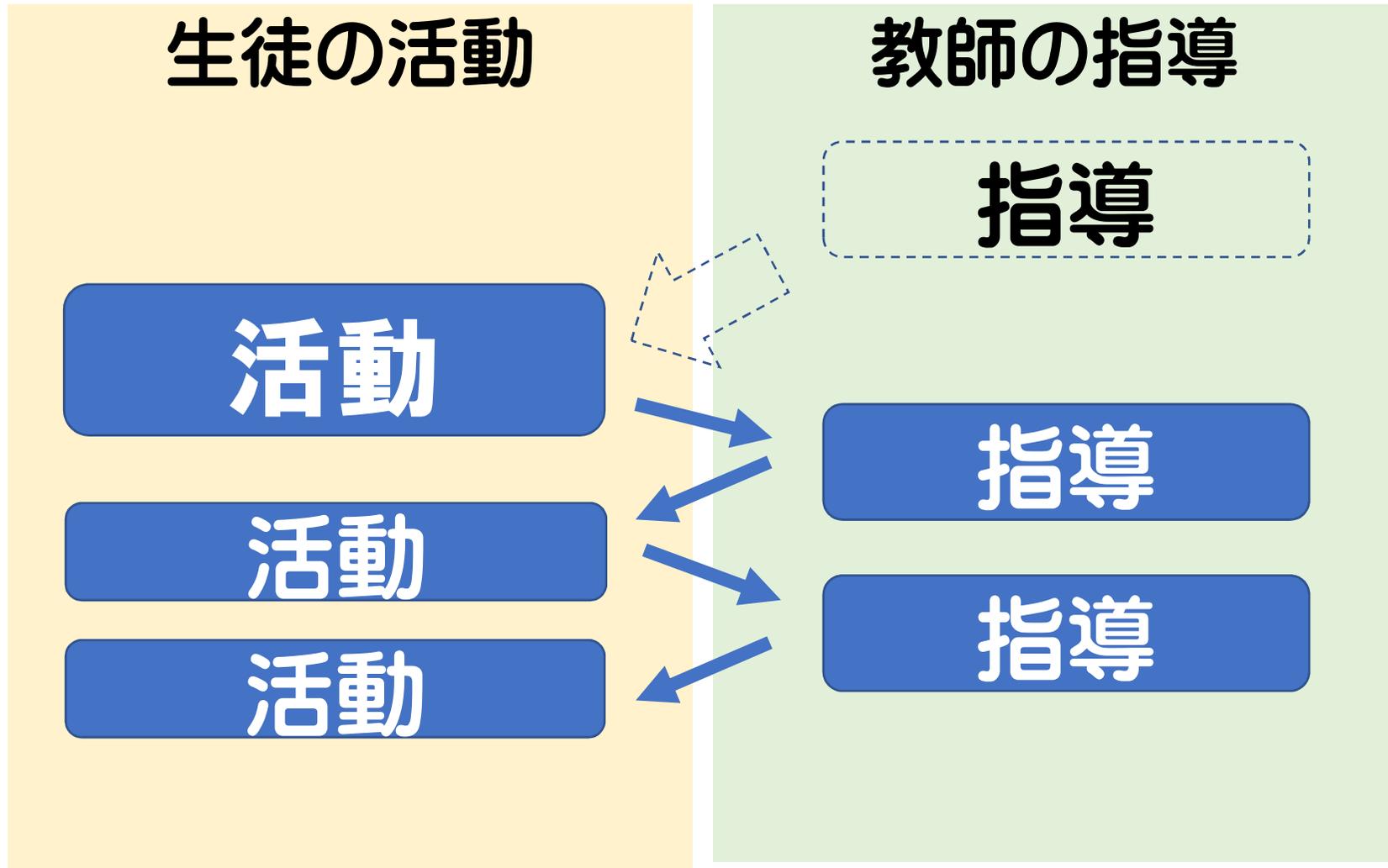


授業で大切にしたい考え方

（**伝え合う内容**）が
あってこそその英語の授業
（**内容**）が先。（**英語**）が後。

互いの考えや気持ちを伝え合う
対話的な言語活動

授業で大切にしたい考え方



移行期間における指導資料について (中学校外国語科)

文部科学省
初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

6. 提供する資料一覧

「小中接続」に係る指導資料

- ① 単元指導計画
- ② 展開案

「帯活動」に係る指導資料

- ① 年間指導計画
- ② 展開案

※右に示すトピックの展開案

※各トピック2コマ分

第1学年

5～6月期

- ・大型連休の思い出
- ・私の家族
- ・今年のお花見

7～9月期

- ・暑い季節に食べたいもの
- ・好きな教科

10～12月期

- ・秋にする好きなこと
- ・私のヒーロー

1～3月期

- ・1年間の思い出
- ・将来したいこと

第2学年

5～6月期

- ・週末の思い出
- ・私の家族

7～9月期

- ・宿泊研修の思い出
- ・オリンピック・パラリンピックで見たい競技

10～12月期

- ・学校行事
- ・職場体験

1～3月期

- ・制服・私服
- ・修学旅行先

／職場体験でしたいこと

ポイント(聞くこと)

① 目的を把握する

- ・聞いた後に、何をするのか明確にして聞かせる

② メッセージを聞く

- ・1回で、概要把握するように指示

③ 情報を整理・確認する

- ・ペア・グループで「何を求めているか」について確認

④ もう一度、聞く

- ・話し合ったことが正しかったかどうか確認

⑤ アドバイスを書く

- ・理解を踏まえて、求められていることについて書く

授業の枠組み(聞くこと)

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】



ポイント(読むこと)

- ① **目的を明確にした2種類の読み方をさせる**
 - ・概要把握と要点
- ② **教師が誘導しない**
 - ・各自の判断で最も大切な部分を選ばせる。
- ③ **読むための手がかりを与える**
 - ・書き手が読み手に問いかけていることは？
 - ・重要なことは繰り返される。

授業の枠組み(読むこと)

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】

1. 黙読

文章を読み、大切だと思う文を選ぶ

2. 共有

選んだ文とその理由をグループやクラスで共有する

3. 検討

選んだ文を比較・検討し、最も大切な文を決める

4. 活用

学んだことを活用し、別の文章を読み、大切な文を選ぶ

ポイント(書くこと)

長期的に繰り返し「書くこと」の言語活動及び指導を行う

① Reporterになろう

情報を基に報告文を書き、読み直して、口頭発表

② Editorになろう

サンプル英文を全体提示し、全員で誤りをチェック

③ Editorになろう

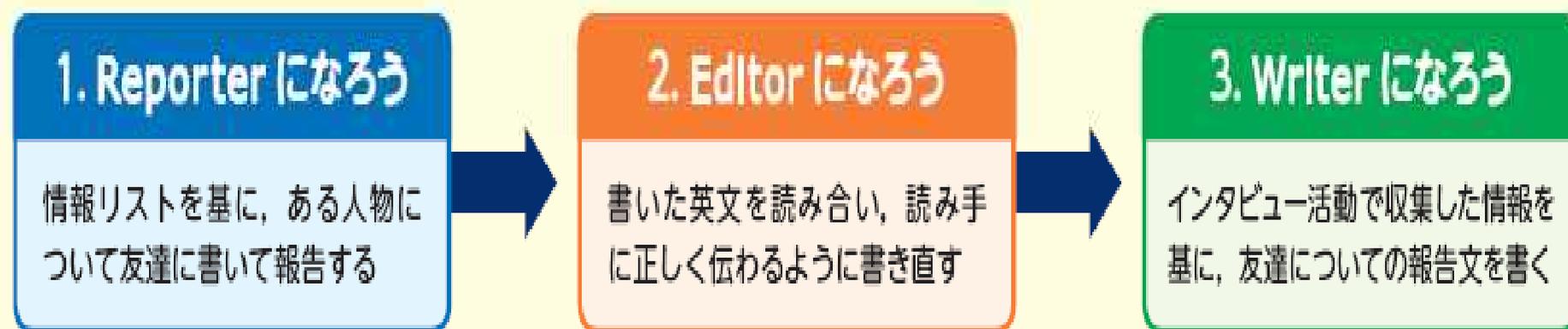
①の英文を読みあい、②を参考に修正

④ Writerになろう

ペアでインタビューしあい、情報を基に報告文作成

授業の枠組み(書くこと)

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】



目的：言語材料を学習した当該単元を越えて、長期的に繰り返し「書くこと」の言語活動及び指導を行い、正しく書く力を身に付ける

ポイント(話すこと)

① Interactive **Teacher-Talk**

- いきなり質問するのではなく、教員自身が語る
- やり取りを継続させる(一人一人を大切に)
- やり取りを中断しないように、意図を捉えて英語で応答する
- 短い文で、ポーズを充分に取る

②生徒同士でやり取り

③シェアする

④生徒同士でやり取り、代表生徒と指導者がやり取り

授業の枠組み(話すこと)

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】



帯活動として上のステップをセットで行う ※「中学校外国語：移行期間における指導資料」参照

References

- 文部科学省. (2017). 「中学校学習指導要領（平成29年告示）
解説 外国語編」
- 文部科学省. (2019). 「移行期間における指導資料について」
（中学校外国語科）
- 文部科学省. (2019). 「平成31年度（令和元年度）全国学力・
学習状況調査報告書 児童生徒一人一人の学力・学習状況に
応じた学習指導の改善・充実に向けて 中学校英語」
- 文部科学省. (2019). 「平成31年度（令和元年度）全国学力・
学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に
向けた説明会【説明資料】」
- 文部科学省. (2019). 「平成31年度（令和元年度）全国学力・
学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」